## ラッソ回帰

正則化項として L1 ノルムを使ってモデルを訓練する場合、そのモデルをラッソ回帰 (lasso regression) と呼ぶ

「lasso」は、「least absolute shrinkage and selection operator」 の略である

ラッソ回帰では、「ベクトルの各要素の絶対値の和が小さい」という条件を 課すことで、モデルの複雑さを抑える

具体的には、L1 ノルム

$$\sum_{d=1}^{D} |w_d|$$

を正則化項として加える

すると、誤差関数は次のように修正される

$$J^{\text{Lasso}}(\boldsymbol{w}) = (\boldsymbol{y} - X \boldsymbol{w})^{\top} (\boldsymbol{y} - X \boldsymbol{w}) + \lambda \sum_{d=1}^{D} |w_d|$$

ref: なっとく!機械学 習 p99

ref: 線形代数の半歩先

p141~144